

平成 23 年第 2 回臨時会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

東日本大震災に伴う本市の対応について

このたびの東日本大震災は、東北地方をはじめとした東日本に甚大な被害をもたらしました。犠牲になられた皆様には、心から哀悼の意を表するとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。この震災に加え、福島第一原子力発電所において発生した事故により、現在も多くの方々が避難を強いられていることに対し、お見舞い申し上げます。被災された地域の一刻も早い復旧、復興を心から願っているところであります。

本市の災害支援につきましては、人的支援として、現在までに、宮城県石巻市に緊急消防援助隊として消防職員を 8 名、宮城県名取市に図書館資料の整理支援のため教育委員会職員 2 名を派遣いたしました。

物的支援としては、3 月 19 日に市が備蓄している食料、おむつ、毛布などを石巻市に発送するとともに、多くの市民の皆様から提供していただいた、段ボール 280 箱分の食料、生活物資、学用品を 4 月 4 日と 11 日に宮城県に発送したところであります。

また、5 月 11 日には、福島県からの要請を受けて、生徒用の机 100 脚とイス 150 脚を提供いたしました。

市民の皆様からの災害義援金につきましては、日本赤十字社北海道支部北広島市地区で受付を行っており、5 月 18 日現在で約 2,274 万円となったところであります。

現在把握している本市への避難状況であります。被災地の福島県や宮城県、岩手県から 7 世帯 20 名の方々が避難されております。

市では、道営住宅や UR 住宅に避難されてきた方々に対し、生活支援一時金として 10 万円を支給するとともに、市の備蓄品等から、物資支援や各種相談にも対応しているところであります。

また、被災地からの人工透析患者を市内宿泊施設で一時的に受入れる準備を整えておりますが、現在まで受入れはないものであります。

なお、生活支援一時金や職員派遣経費、人工透析患者受入れ経費などにつきましては、平成 23 年度一般会計補正予算第 1 号として、4 月 6 日に専決処分をさせていただいたところであります。

これまで、個人支援物資の受入れ作業や義援金など、多くの方々にご協力いただきましたことに対し、心からお礼申し上げます。

今後も、北海道などと連携しながら支援をしてまいりたいと考えておりますので、市民の皆様のご協力をお願い申し上げます。

以上申し上げ、行政報告といたします。